

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で8ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その2)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答がイのとき)

1	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
---	--

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次のA～Dの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

A. 大和の王権は、5世紀後半のころから地方の豪族にたいする支配を強めていった。1968年に埼玉県行田市郊外の [a] 古墳から鉄製の剣や刀、勾玉、鏡その他が発見され、その後、鉄剣の両面から合計115文字の銘文が確認された。銘文にはワカタケル大王に仕えた [b] の臣の祖先のことや、大王の役所がシキの宮にあるとき、臣が大王の天下をおさめるのを助けたことなどが記されていた。この銘文の解読により、それまで不明であった熊本県の [ア] 古墳出土の大刀の銘文にみえる大王もワカタケル大王、すなわち『日本書紀』にみえる [c] 天皇であることが判明した。

B. 1119年、ときの関白藤原 [d] は上野国の5000町歩にも及ぶ広大な土地の寄進をうけた。それは、1108年の浅間山の大噴火で周辺の国々の多くの土地が荒廃したため、同国をはじめ各地で大規模な土地の再開発が進み、その一つが荘園として寄進されたものであった。11～12世紀には、郡司などの地方豪族や有力な田堵のなかには田地の開墾をすすめ、それを私領化して [イ] となる者があらわれたが、彼らのなかにはその土地を摂関家などの貴族や皇族、大寺社に寄進し、国司の没収などから免れるとともに、みずからは [e] となって実質的な権力を保持した者も多かった。

C. 「一 質券^{しちけん}売買^{あらい}地の事

右、所領を以て或は質券に入れ流し、或いは売買せしむるの条、御家人等^{たてい もと}侘^{きようこう}僚^おの基^{ちようじ}なり。向^{こきやく}後^りに於^りいては、停^{ただ}止^{おんくだしぶみ}に従^{げち}ふべし。以^た前^た沽^た却^たの分^たに至^たりては、本^{りようしよ}主^り領^り掌^たせしむべし。但^{ただ}し、或^{おんくだしぶみ}いは御^{げち}下^た文^た・下^た知^た状^たを成^たし給^たひ、或^たいは知^た行^た廿^た箇^た年^たを過^たぐるは、公^た私^たの領^たを論^たぜず、今^た更^た相^た違^た有^たるべからず。」(『 [ウ] 文書』に収録。原漢文)

上の文書は [f] 探題に通達された幕府の法令の一部で、一般に「永仁の徳政令」として知られている。この時期、貨幣経済の発達は小さな所領の御家人の生活を苦しくし、所領を質に入れたり売却したりする者もみられた。そのため幕府は、困窮した御家人を救済するため [g] 年にこの法令を出したが、御家人は金銭の貸し渋りにあうなどかえって苦しむこととなり、幕府の衰退をもたらした。

D. 1293年と1315年の火災で荒廃した の再建費用を得るため、幕府の許可により1325年に中国・元に出帆、翌年に帰国して銅銭3000貫を寺に納めた船のことを 船と呼ぶ。これは後に、足利尊氏が亡き の冥福を祈って造営を企てた の建設費を調達するため、弟の足利直義が元に派遣した 船の前例ともなった。

問1 ~ にはいる語句を漢字で記しなさい。解答用紙(その1)を用いること。

問2 ~ にはいる語句を次の①~⑳から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- | | | | | |
|--------|--------|-------|--------|--------|
| ① 1295 | ② 観音山 | ③ 奥州 | ④ モノノベ | ⑤ 建仁寺 |
| ⑥ 見瀬丸山 | ⑦ 頼通 | ⑧ 天龍寺 | ⑨ 垂仁 | ⑩ 1296 |
| ⑪ 鎮西 | ⑫ 東福寺 | ⑬ 忠実 | ⑭ 地頭 | ⑮ 武烈 |
| ⑯ 寿福寺 | ⑰ ソガ | ⑱ 六波羅 | ⑲ 天神山 | ⑳ 相国寺 |
| ㉑ 頼長 | ㉒ 1297 | ㉓ 稻荷山 | ㉔ 妙心寺 | ㉕ 荘官 |
| ㉖ 建長寺 | ㉗ 忠通 | ㉘ 雄略 | ㉙ ヲワケ | ㉚ 円覚寺 |

Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

豊臣政権下で^a五大老の筆頭であった徳川家康は、秀吉の後継者をめぐる争いの中、1600年天下分け目といわれる^b関ヶ原の戦いで勝利し、三年後には^c①の宣下をうけ、名実ともに武家の棟梁として江戸に幕府を開いた。

家康は、関ヶ原の戦いの後、次々と全国支配のための基礎固めを行った。まず、^c西軍に属した諸大名を処分するなど、全国的規模で諸大名の除封・減封・移封を行った。これによって譜代小藩と徳川の蔵入地が近畿から関東までに集中し、外様大名は東北・北陸・中国・四国・九州などの遠隔地に配置されるという江戸時代を通じてみられる特徴が成立した。

さらに、^d諸大名にたいして江戸城などの普請や、江戸の市街地の造成を命じて多額の負担を負わせたり、参勤交代を強制するなどしてその勢力を抑えるとともに、秀吉の例に倣って、諸役賦課の基準として1605年国絵図と御前帳の提出を命じた。これは、秀吉の後継者として全国の正統な支配者であることを公に示すという意味をもった。

ちなみに、秀吉が提出を命じた御前帳は②であったが、家康が命じた御前帳は、各郡村ごとの石高を国ごとにまとめた帳簿である③の祖型となるものであった。国絵図と③の作成は慶長年間ののち、正保・元禄・^eあ年間にも行われた。

家康は、將軍職を秀忠に譲ったあとも④として権力をにぎり、1615年^e大坂夏の陣で豊臣家を滅亡させると、直ちに^f武家諸法度や禁中並公家諸法度を制定して武家や公家の^g厳しい統制をはかった。こうした諸大名などへの^h厳しい統制は引き継がれ、^h三代將軍家光のころまでに、幕府権力の基礎が固まった。

問1 空欄①～④にあてはまるもっとも適切な語句を解答用紙に指定された文字数で書きなさい。解答用紙(その1)を用いること。

問 2 下線部 a について、次の中から五大老に該当しない人物をひとり選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ア 前田利家 イ 毛利輝元 ウ 小早川隆景
エ 宇喜多秀家 オ 浅野長政

問 3 下線部 b について、戦場となった関ヶ原が所在する国名はどれか。正しいものを一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ア 尾張国 イ 三河国 ウ 美濃国
エ 信濃国 オ 飛騨国

問 4 下線部 c について、次の中で、関ヶ原の戦いで西軍に属し、処刑された人物は誰か。もっとも適当なものを一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ア 蒲生氏郷 イ 小西行長 ウ 大村純忠
エ 黒田長政 オ 細川忠興

問 5 下線部 d に関連して、江戸時代の大名諸家や旗本・御家人に関する次の記述の中で誤っているものを一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 江戸時代の大名とは、1万石以上の領知を将軍から与えられたものをいい、1万石未満のものを旗本・御家人とした。

イ 大名は、将軍との親疎により、親藩・譜代・外様に分けられた。親藩は徳川一門の大名、譜代は大坂の陣の前から徳川の家臣だった大名、外様は大坂の陣ののちに徳川に従った大名である。

ウ 徳川将軍家の一門には、尾張・紀州・水戸の御三家や田安家・一橋家・清水家の御三卿を筆頭に、越前・会津などの松平諸家が含まれる。

エ 1万石未満の将軍直属の家臣団の中で、将軍に御目見得できるのが旗本で、御目見得できないのが御家人である。享保期には、旗本は約5000人、御家人は約1万7000人であった。

オ 旗本には、知行取と蔵米取とがある。

問 6 空欄 あ に該当するものを一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 正徳 イ 享保 ウ 天保 エ 弘化 オ 安政

問 7 下線部 e について、将軍職を譲って二年後に家康が居城としたのはどこか。もっとも適切なものを一つえらんでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 甲府 イ 駿府 ウ 江戸 エ 大坂 オ 名古屋

問 8 下線部 f について、家康の命により起草した人物を一人選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 夢窓疎石 イ 金地院崇伝 ウ 沢庵宗彭
エ 千利休 オ 隠元隆琦

問 9 下線部 g について、公家から二人選ばれ、幕府と朝廷との交渉の窓口となった役職はなにか。次の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 武家伝奏 イ 側用人 ウ 目付 エ 高家 オ 奏者番

問10 下線部 h について、三代将軍家光の時代のことがらとして正しいものを一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 朝廷の統制や西国大名の監視などのため、京都所司代が設置された。
イ ポルトガル船の来航が禁止され、二年後オランダ商館が出島に移され、鎖国が完成した。
ウ 後継者のない武家が断絶し改易されるのを防ぐため、当主が死に臨んで急に養子を決める末期養子の禁が緩和された。

エ 大名火消・定火消に加えて「いろは」47組の町火消組合が結成され、江戸の消防体制が確立した。

オ 浅間山が大噴火し、大きな被害が出た。冷害・水害も発生し、大規模な飢饉となった。

Ⅲ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

明治時代に西洋学問の研究方法が取り入れられるなか、1891(明治24)年に帝国大学教授 **あ** は「神道は祭典の古俗」と論じた。ところがその内容が問題視されたことがきっかけとなり、彼は翌年職を追われることとなった。明治期に主として天皇制に関わる領域で学問の自由と自立が脅かされたことについては、『点と線』などの作品で知られる作家の **い** が『小説東京帝国大学』で扱っている。

大正時代になると階級間格差への批判が高まり、政治の民主化を求める国民の声が強まった。河上肇が1916(大正5)年に著し翌年単行本化された『**①**』はその早い例であったが、この時代にも学問の自立はしばしば脅かされた。1920年、東京帝国大学助教授であった **う** は先に発表したロシアの革命家クロポトキンの研究が無政府主義の宣伝であると問題視され、のちに起訴されて有罪となり、職を追われる結果となった。この時に法廷で彼の弁護にまわった吉野作造は「デモクラシー」の訳語として「**え**」を提唱したことで知られるが、それは国民主権を意味する民主主義とは一線を画し、天皇主権を規定する大日本帝国憲法の枠内で民主主義の長所を採用するという説であった。これは **お** の唱えた天皇機関説とともに、大正デモクラシーの理念となった。

②
大正・昭和初期に日本の知識人層に強い影響力を与えたのはマルクス主義であった。1932(昭和7)年から翌年にかけて、野呂栄太郎、羽仁五郎、山田盛太郎ら **③** によって編集された『日本資本主義発達史講座』が **か** より出版されたが、一方でこの時期におけるナショナリズムの高揚や軍部・右翼の台頭はマルクス主義のみならず自由主義的な学問研究への弾圧をも招いた。1933年、自由主義的な刑法学説を唱えていた京都帝国大学教授の **き** は文部大臣であった鳩山一郎の圧力で退職処分^④に追い込まれた。同大学法学部教授会は全員が辞表を出して抵抗したものの、敗北に終わっている。1935年には貴族院における菊池武夫による批判を契機として、通説を占めていた **お** の天皇機関説が否定され

るに至り、1937～38年にかけての人民戦線事件でも多くの学者が大学を追われた。^⑤

第二次世界大戦後はマルクス主義が急速に復活した。これらは西欧近代との比較により日本の後進性を批判的に指摘するという特徴をもっていたが、特に政治学者の 、経済史学者の 、法社会学者の らは学生や知職人に大きな影響を及ぼした。1949年にはあらゆる分野の科学者を代表する機関として が設立され、科学行政などを検討・勧告する仕組みが整えられた。

問 1 ～にあてはまる適当な語句を書きなさい。解答用紙(その1)を用いること。

問 2 にあてはまる書名として適当なものを次の選択肢の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 窮乏の農村 イ 女工哀史 ウ 蟹工船 エ 貧乏物語

問 3 下線部②について、当時はこれを批判して天皇の権力は絶対であるという天皇主権説も存在したが、その代表者で東京帝国大学にあった憲法学者の氏名を次の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 上杉慎吉 イ 佐々木惣一 ウ 福田徳三 エ 穂積陳重

問 4 下線部③について、この人物は旧姓を森といい、第二次世界大戦後に教育評論家として活躍した羽仁説子との結婚で同家に入った。説子の母親であるもと子は大正時代に活発化した自由教育運動を实践して学校を創設したが、その名称を次の選択肢の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 信濃自由大学 イ 自由学園 ウ 成城学園 エ 綴方教室

問 5 下線部④について、政府は天皇に主権があることを宣言した声明を2度にわたり発した。

(1) その時の首相を次の選択肢の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 岡田啓介 イ 近衛文麿 ウ 斎藤実 エ 広田弘毅

(2) その声明は通常なんと呼ばれるか答えなさい。解答用紙(その1)を用いること。

問 6 下線部⑤について、この時に大学を辞した者の一人は、第二次世界大戦後に石炭と鉄鋼の生産に重点をおくことで復興を図る政策構想を発案した。その人物の氏名を次の選択肢の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 有沢広巳 イ 大内兵衛 ウ 大河内正敏 エ 矢内原忠雄

問 7 ~ にあてはまる語の組み合わせとして適当なものを、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア a 川島武宜 — b 丸山真男 — c 大塚久雄

イ a 丸山真男 — b 川島武宜 — c 大塚久雄

ウ a 丸山真男 — b 大塚久雄 — c 川島武宜

エ a 川島武宜 — b 大塚久雄 — c 丸山真男

問 8 にあてはまる語を次の選択肢の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 文化庁

イ 日本学術会議

ウ 日本学生支援機構

エ 日本学術振興会

問 9 の甥にあたる人物らは、大正後期から昭和初期にかけ商工省や企画院などに所属して、政府による介入や統制を重視した経済政策を推進した。このようなグループの通称を次の選択肢の中から選び、マークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

ア 革新官僚

イ 統制派

ウ 藩閥

エ 労農派